



水土里ネット明正 ②明正井路(第一拱石橋・第二拱石橋と十角サイフォン)



第一拱石橋



第二拱石橋と十角サイフォン

information

明正井路は、緒方川上流にある竹田市入田大字角田を水源として豊後大野市緒方町、清川町の一部、受益面積450haにかんがいする井路である。

本井路の沿革は、文久年間にさかのぼり紆余曲折を経た後、竣工したのは約60年後の大正13年のことであった。

井路開削に大きく貢献したのは、明治後期から大正にかけて携わった県土木技師の矢島義一であった。矢島は、井路開削に命をかけて測量や資金繰りを懸命に行ったが、思うようにいかず、落盤事故なども重なり自ら命を絶ったと言われている。



| | |
|--------|---|
| 建設年 | 大正8年(1919年) |
| 所在地 | 竹田市大字門田 |
| 緒元 | 第一拱石橋(橋長78m、橋幅2.8m、6連橋) 第二拱石橋(橋長40m、橋幅1.6m、3連橋) |
| お問い合わせ | 豊後大野市緒方町平石2561-2 明正土地改良区 TEL0974-42-3328(FAX共通) |